

# 令6 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 学習指導要領(中学校:平成29年3月告示、高等学校:平成30年3月告示)について、あとの問いに答えなさい。

1 中学校学習指導要領 第1章 総則 第1の2(3)及び高等学校学習指導要領 第1章 総則 第1款2(3)に示される「学校における体育・健康に関する指導」の内容について、次の文中の(①)～(⑤)に入る適切な語句を、あとのア～ソからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

### 【中学校】 第1章 総則 第1の2(3)

学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、学校の(①)を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と(②)の実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における食育の推進並びに(③)に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科及び(④)の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や(⑤)との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

### 【高等学校】 第1章 総則 第1款2(3)

学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、学校の(①)を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と(②)の実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における食育の推進並びに(③)に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、家庭科及び(④)の時間はもとより、各教科・科目及び総合的な探究の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や(⑤)との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

ア 体力の向上	イ 豊かなスポーツライフ	ウ 学校行事	エ 学校	オ 特別活動
カ 部活動	キ 教育活動全体	ク 豊かな心	ケ 行政	コ 他者
サ 資質の向上	シ カリキュラム・マネジメント	ス 課外活動	セ 保護者	ソ 地域社会

2 中学校第3学年及び高等学校入学年次の各領域に関する目標について、文中の(①)～(⑪)に入る適切な語句を書きなさい。

### 【体づくり運動】 知識及び運動

- (1) 次の運動を通して、(①)楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、(②)などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。
- ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、(③)は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。
- イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や(④)のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。

### 【陸上競技】 知識及び技能

- (1) 次の運動について、(⑤)や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。
- ア 短距離走・リレーでは、(⑥)へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。
- イ 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、(⑦)な助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。

### 【球技】 知識及び技能

- (1) 次の運動について、(⑧)楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。
- ア ゴール型では、安定したボール操作と(⑨)を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。
- イ (⑩)型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
- ウ ベースボール型では、安定した(⑪)操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。

## 令6 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

3 中学校学習指導要領解説 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2 内容 C 陸上競技及びE 球技〔第3学年〕並びに高等学校学習指導要領解説 第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容〔体育〕3 内容 C 陸上競技及びE 球技〔入学年次〕に示された次の(1)～(4)の資質・能力に関する例示として正しいものを、それぞれのア～エから1つずつ選んで、その符号を書きなさい。

(1) 思考力、判断力、表現力等【C 陸上競技】

- ア 仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとすること。
- イ 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えること。
- ウ 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとすること。
- エ 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事。

(2) 思考力、判断力、表現力等【E 球技】

- ア 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。
- イ 球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
- ウ ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ること。
- エ 作戦などについての話合いに貢献しようとする事。

(3) 学びに向かう力、人間性等【C 陸上競技】

- ア 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事。
- イ 自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ること。
- ウ 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けること。
- エ 選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶこと。

(4) 学びに向かう力、人間性等【E 球技】

- ア チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ること。
- イ 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。
- ウ 連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。
- エ 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする事。

4 中学校第3学年及び高等学校入学年次の体育の領域とその取扱いについて、次の文中の(①)～(⑤)に入る適切な語句や数字を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句か数字が入る。

体づくり運動は必修であり、中学校第3学年は(①)単位時間以上、高等学校入学年次は(①)～10単位時間程度を配当することとしている。

中学校第3学年、高等学校入学年次の年間指導計画においては、器械運動、陸上競技、(②)及び(③)についてはこれらの中から1以上を、球技及び(④)からは1以上選択して履修できるようにすること。

中学校第3学年、高等学校入学年次の球技においては、3つの型から(⑤)つを選択して履修できるようにすること。

II がんの予防や治療に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本人の死因で最も多い「がん」に関するさまざまな対策を施すため、わが国では、2006年に制定された法律によって、がんの治療法、予防法、早期発見の対策などを計画的かつ効率的に推進していくことが定められています。また、その法律ではがんの治療に対する基本理念とともに、国や地方公共団体、医師、患者が負うべき責務などが示されています。

1 下線部Aの法律名を書きなさい。

2 下線部Bについて、4大治療法とされているものは、「手術療法」、「化学療法」、「免疫療法」以外にあと1つ何があるか書きなさい。

3 下線部Cについて、がんになるリスク軽減のための「5つの健康習慣」とされているものは、「節酒」、「減塩」、「適切な体重管理」以外にあと2つ何があるか書きなさい。

## 令6 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

- 4 下線部Dについて、厚生労働省が定める指針に基づくがん検診の内容を示す次の表に関して、表中の( ① )～( ⑤ )に入る適切な語句や数字を書きなさい。

表

種類	検査項目	対象	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	( ① ) 歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については( ② ) 歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	( ③ ) 歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査(( ④ )) ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
( ⑤ ) 検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

- Ⅲ 学校体育実技指導資料第10集「器械運動指導の手引」に示されるマット運動の技の分類及びその段階的な指導方法の例について述べた次の文中の( ① )～( ⑱ )に入る最も適切な語句を、あとのア～ノからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

### 【技の分類】

マット運動の技は、大きく( ① )系と( ② )系に分けられ、学校体育では( ① )系では( ③ )技群とほん転技群、( ② )系では( ④ )技群が取り上げられます。

### 【段階的な指導方法の例】

- 初めから( ⑤ )をマットに順々に接触させて一回転するのは難しいので、「( ⑥ )」で動き方を身に付けるとよいでしょう。
- 倒立前転では、まず、( ⑦ )等で( ⑧ )を腹屈できるか確認します。そして、( ⑧ )を腹屈したまま倒立位が保持できたら、次の課題として、壁登り逆立ちや( ⑨ )から倒立前転をすることが考えられます。このとき、( ⑩ )を着くのと同時に( ⑤ )を小さく丸めてしまうのは危険です。
- 後転グループでは、回転力を高めることに加えて、( ⑧ )を抜くときに、( ⑪ )を開き、( ⑫ )の押しを同調させ、( ⑪ )の位置を高くすることが、発展技に結びつきます。発展技の学習には、( ⑬ )グループを関連付けて指導すると効果的です。
- 倒立の指導に当たっては、支える場所が( ⑭ )倒立から( ⑮ )倒立へと発展させていくことが考えられます。また、立位から逆位へ一気に姿勢を変えるのは、バランスが取りにくい課題です。したがって、( ⑦ )をしようとして、壁に( ⑪ )をぶつけて崩れてしまったり、怖くて( ⑯ )を振り上げられず、逆位に戻ってきたりしてしまいます。このような生徒に対して、( ⑰ )から補助者が( ⑱ )を持って倒立させるという方法が考えられます。
- 倒立と側方倒立回転は、上体を倒しながら( ⑯ )を振り上げること、( ⑫ )でマットを押しながら起き上がることは共通しています。この動きに側方倒立回転は( ⑤ )の向きを変えることが加わります。
- 前方倒立回転跳びの指導においては、立ちやすいように、( ⑱ )を利用した練習が有効です。( ⑤ )を反ったまま回転し、( ⑲ )の準備をする感覚をつかむようにします。初めのうちは補助者に回転中と( ⑲ )時に( ⑤ )を支えてもらいます。回転力が高まってくると、回りすぎるので、( ⑲ )での補助を注意させるとともに、( ⑱ )を小さくしていき、最終的にはマット上で練習できるように導いていきます。

ア 後頭部	イ 着地	ウ 補助倒立	エ はねおき	オ 頭
カ 落差	キ 肩	ク ゆりかご	ケ 巧技	コ 壁倒立
サ 平均台	シ 回転	ス 脚	セ 腰	ソ 接転
タ 体	チ 高い	ツ 多い	テ 手	ト 腕立て正面支持臥
ナ 少ない	ニ 低い	ヌ 緩急	ネ 鉄棒	ノ 平均立ち

# 令6 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

IV 学校における安全管理について、<sup>とうけいぶ</sup>頭頸部外傷の事故防止(独立行政法人日本スポーツ振興センター)として示される「指導者のための頭頸部外傷対応の10か条」に関して、文中の(①)～(⑥)に入る適切な語句を書きなさい。

### 【体育活動における基本的注意事項】

- (1) 児童生徒の(①)や技能・体力の程度に応じて、(②)や活動計画を定める。
- (2) 体調が悪いときには、無理をしない、させない。
- (3) 児童生徒の(③)を把握し、健康観察を十分に行う。
- (4) 施設・設備・用具等について継続的・計画的に安全点検を行い、正しく使用する。

### 【頭頸部外傷を受けた(疑いのある)児童生徒に対する注意事項】

- (5) (④)は脳損傷の程度を示す重要な症状であり、意識状態を見極めて、対応することが重要である。
- (6) 頭部を打っていないからといって安心はできない。意識が回復したからといって安心はできない。
- (7) 頸髄・頸椎損傷が疑われた場合は動かさないで速やかに救急車を要請する。
- (8) 練習、試合への復帰は慎重に。

### 【その他、日頃からの心がけ】

- (9) 重症時に救急隊に搬送をお願いする、また軽症の場合も受診する医療機関((⑤)医が常駐する)を日頃から決めておく。
- (10) 安全教育や組織活動を充実し(⑥)や児童生徒が事故の発生要因や発生メカニズム等を正確に把握し、適切に対応できるようにする。

V 熱中症の予防について、熱中症環境保健マニュアル2022(環境省)及び熱中症対策行動計画(政府)で示される内容に関して、文中の(①)～(⑬)に入る適切な語句を、あとのア～ノから選んで、その符号を書きなさい。

熱中症を引き起こす条件として「気温」は重要ですが、わが国の夏のように蒸し暑い状況では、気温だけでは熱中症のリスクは評価できません。暑さ指数(WBGT)は、人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目し、気温、(①)、日射・(②)、風の要素をもとに算出する指標として、特に労働や運動時の熱中症予防に用いられています。

暑さ指数の算出式は、【 $0.7 \times$  (③) 温度 +  $0.2 \times$  (④) 温度 +  $0.1 \times$  (⑤) 温度】となります。

「暑熱環境にさらされた」という状況下での体調不良はすべて熱中症の可能性がります。軽症である(⑥)は「立ちくらみ」、同様に軽症に分類される熱けいれんは、全身けいれんではなく「筋肉のこむら返り」です。どちらも意識は清明です。中等症に分類される(⑦)では、全身の倦怠感や脱力、(⑧)、吐き気、嘔吐、下痢等が見られます。最重症は(⑨)と呼ばれ、高体温に加え意識障害と(⑩)が主な症状です。けいれん、(⑪)や腎障害も合併し、最悪の場合には早期に死亡する場合があります。

また、令和4年4月政府発表の熱中症対策行動計画の改定内容における中期的な目標では、熱中症による死亡者数ゼロに向けて、(⑫)年までの間、令和3年に引き続き死亡者数が年間(⑬)人を超えないようにすることを目指し、顕著な減少傾向に転じさせることとしています。

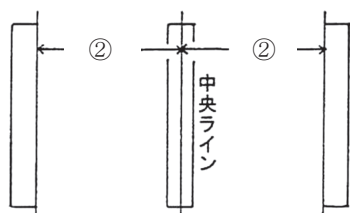
ア 肝障害	イ 腹痛	ウ 呼吸困難	エ 熱失神	オ 湿度
カ 時間	キ 頭痛	ク 天候	ケ 発汗停止	コ 呼吸不全
サ 日射病	シ 放射	ス 熱射病	セ 熱疲労	ソ 黒球
タ 熱球	チ 乾球	ツ 湿球	テ 輻射	ト 2027
ナ 2030	ニ 2032	ヌ 300	ネ 500	ノ 1000

VI 生徒の体力や技能の向上について、次の問いに答えなさい。

1 新体力テストの「反復横とび」について説明した次の文中の(①)、(②)に入る適切な数字を書きなさい。

- (1) 中央ラインをまたいで立ち、「始め」の合図で右側のラインを越すか、または踏むまでサイドステップし、次に中央ラインにもどり、さらに反対側のラインを越すか触れるまでサイドステップする運動を(①)秒間繰り返す。
- (2) 床の上に次の図のように中央ラインを引き、その両側(②)cmのところを2本の平行ラインをひく。

図



## 令6 中学校・高等学校保健体育 (7枚のうち5)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

2 反復横とびについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 反復横とびを実施することにより調べることのできる体力要素を書きなさい。
- (2) (1)の体力要素を高めるためのトレーニング方法を、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア スタビライゼーション

イ フロントブリッジ

ウ バーピー

エ ヒップロール

3 次の(1)～(5)は、筋力及び持久力に関するトレーニングについて説明した文である。トレーニング方法の名称を、それぞれカタカナで書きなさい。

- (1) 筋の両端が固定された状態で、筋の長さが変わらずに張力を発揮するような筋活動のトレーニング
- (2) 筋を、単に短縮するのではなく、いったん伸張してからすばやく短縮するとより大きな力やパワーを発揮できる特性を利用したトレーニング
- (3) 筋が収縮したり、伸長されたりする速度が一定になるようにコントロールした筋活動のトレーニング
- (4) 心拍数が毎分180拍程度を超えるような高強度のランニングや運動を、短い休息時間をはさんで繰り返すトレーニング
- (5) 全力の運動を十分な休息をとって数本繰り返すトレーニング

4 運動における体力向上について述べた次の文中の(①)～(⑤)に入る適切な語句を書きなさい。

- (1) 練習の上達過程で技能の向上が長期間止まる場合を(①)、後退がみられる場合を(②)という。
- (2) 対応すべき相手やボールが常に変化するような状況下で発揮される運動技能を(③)という。また、外的条件に左右されることのない状況下で発揮される運動技能を(④)という。
- (3) 練習やトレーニングによって技能や体力を向上させるためには、それまで行っていた運動より強度や難度が高い運動を行う必要がある。これを(⑤)の原理という。

VII 運動種目における現行ルールや用語について、次の問いに答えなさい。

- 1 器械運動の鉄棒運動の技は懸垂系と何系に分類されるか書きなさい。
- 2 柔道の試合における主審の宣告として、片腕を体の側方で肩の高さに手のひらを下に向けて挙げる動作は何を示しているか書きなさい。
- 3 2021年に開催された東京オリンピックから正式採用となった、「リード」「スピード」「ボルダリング」の3種目で実施される種目名を、カタカナ10文字で書きなさい。
- 4 卓球の試合において、1ゲームは先に何点を奪った方が獲得するか書きなさい。(デュースの場合は除く。)
- 5 剣道において相手が攻める、あるいは打ち込もうとする、その起こりばなをとらえてしかける技の名称を書きなさい。
- 6 バレーボールの試合において、「いかなる場所からでもボール全体がネット上端より高い位置にあるときは、アタックヒットを完了することは許されない」と規則に定められるポジションの名称を書きなさい。

VIII 保健体育、スポーツについて、次の問いに答えなさい。

- 1 学習指導要領解説にも示されている生涯にわたる運動やスポーツの多様な関わり方とは、運動やスポーツを「する」、「見る」、「知る」以外にあと1つ何があるか書きなさい。
- 2 スポーツによる青少年の健全育成と世界平和の実現というオリンピックの理念のことを何というか、カタカナ6文字で書きなさい。
- 3 車いすテニス男子シングルスで4大会を合計28回制覇し、パラリンピックでも3回優勝した後、今年3月に国民栄誉賞を受賞した選手名をフルネームで書きなさい。
- 4 スポーツ産業の拡大に伴い、スポーツ施設や大会名に企業の名前をつけることを何というか書きなさい。
- 5 ジャンプ動作での膝屈伸時やダッシュやキック動作を繰り返すことによって筋の付着部である膝蓋腱に過度のストレスがかかり脛骨粗面に限局した疼痛を伴う症状のことで、小学校高学年から中学生くらいの成長期にある子どもに頻発するスポーツ障害を何というか書きなさい。
- 6 障害の有無や年齢、性別、国籍にかかわらず、あらかじめ多様な人々が利用しやすいよう、建物や製品を設計するという考え方を何というか書きなさい。
- 7 スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性等が示され、国民の心身の健全な発達やスポーツ文化の形成をめざして2011年に制定された法律名を書きなさい。
- 8 令和4年3月に兵庫県教育委員会が策定した「兵庫県第2期スポーツ推進計画」において掲げられている4つの政策目標とは、「子ども・ユーススポーツの推進」、「生涯スポーツの推進」、「競技スポーツの推進」以外にあと1つ何があるか書きなさい。

令6 中学校・高等学校保健体育解答用紙 (7枚のうち6)

総計		

保体

I	1	①		②		③			
		④		⑤					
	2	①			②				
		③			④				
		⑤			⑥				
		⑦			⑧				
		⑨			⑩				
		⑪							
	3	(1)		(2)		(3)		(4)	
	4	①		②		③			
④			⑤				※②、③順不同		

I		

II	1						
	2	(療法)					
	3	.....					
	4	①		②		③	
④			⑤				

II		

III	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨	
	⑩		⑪		⑫	
	⑬		⑭		⑮	
	⑯		⑰		⑱	
		⑲				

III		

IV	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	

IV		

令6 中学校・高等学校保健体育解答用紙 (7枚のうち7)

V	①		②		③		④	
	⑤		⑥		⑦		⑧	
	⑨		⑩		⑪		⑫	
	⑬							

V		

VI	1	①	(秒間)	②	(cm)	
	2	(1)		(2)		
	3	(1)	(トレーニング)			
		(2)	(トレーニング)			
		(3)	(トレーニング)			
		(4)	(トレーニング)			
		(5)	(トレーニング)			
	4	①		②		
		③		④		
		⑤				

VI		

VII	1	(系)	2	
	3		4	(点)
	5		6	

VII		

VIII	1		2	
	3		4	
	5		6	
	7		8	(の推進)

VIII		

令6 中学校・高等学校保健体育模範解答 (7枚のうち6)

総計	200

I	1	①	キ	②	イ	③	ア		
		④	オ	⑤	ソ				
	2	①	体を動かす			②	運動の原則		
		③	心と体			④	調和		
		⑤	記録の向上			⑥	中間走		
		⑦	リズムカル			⑧	勝敗を競う		
		⑨	空間			⑩	ネット		
		⑪	バット						
	3	(1)	イ	(2)	ウ	(3)	ア	(4)	エ
	4	①	7		②	水泳		③	ダンス
④		武道		⑤	2		※②、③順不同		

I	50

II	1	がん対策基本法							
	2	放射線 (療法)							
	3	禁煙			適度な運動				
	4	①	50		②	40		③	20
④		マンモグラフィ			⑤	大腸がん			

II	18

III	①	シ	②	ケ	③	ソ
	④	ノ	⑤	タ	⑥	ク
	⑦	コ	⑧	オ	⑨	ウ
	⑩	ア	⑪	セ	⑫	テ
	⑬	エ	⑭	ツ	⑮	ナ
	⑯	ス	⑰	ト	⑱	カ
	⑲	イ				

III	38

IV	①	発達段階		②	指導計画	
	③	既往症		④	意識障害	
	⑤	脳神経外科		⑥	教職員	

IV	12



## 令6 中学校・高等学校保健体育模範解答 (7枚のうち7)

V	①	オ	②	テ	③	ツ	④	ソ
	⑤	チ	⑥	エ	⑦	セ	⑧	キ
	⑨	ス	⑩	ケ	⑪	ア	⑫	ナ
	⑬	ノ						

V	26

VI	1	①	20	(秒間)	②	100	(cm)	
	2	(1)	敏しょう性		(2)	ウ		
	3	(1)	アイソメトリック				(トレーニング)	
		(2)	プライオメトリック				(トレーニング)	
		(3)	アイソキネティック				(トレーニング)	
		(4)	インターバル				(トレーニング)	
		(5)	レペティション				(トレーニング)	
	4	①	プラトー		②	スランプ		
		③	オープンスキル		④	クローズドスキル		
		⑤	オーバーロード					

VI	28

VII	1	支持	(系)	2	技あり	
	3	スポーツライミング		4	11	(点)
	5	出ばな技		6	リベロ	

VII	12

VIII	1	支える		2	オリンピックズム	
	3	国枝 慎吾		4	ネーミングライツ	
	5	オスグッド病		6	ユニバーサルデザイン	
	7	スポーツ基本法		8	障害者スポーツ (の推進)	

VIII	16